

# 1

## スーパークローン文化財とは

---

文化財は古くより「保存」と「公開」の両立が求められるという矛盾を抱えています。劣化する文化財は、非公開にして大切にしまっておくことが保存として最良の選択ですが、非公開ではその素晴らしい価値が共有されず、本来の存在意義が損なわれてしまいます。この問題を解決すべく、東京藝術大学では芸術と科学技術の融合による高精度な文化財複製「クローン文化財」の技術を開発しました。

クローン文化財は、古くより伝承されてきた伝統的な模写の技術と、現代のデジタル撮影技術や 2D・3D の印刷技術を用いて制作され、絵具や基底材などの成分、表面の凹凸や筆のタッチまでを忠実に再現しています。オリジナルの文化財と同素材・同質感を目指し、人の手技や感性を取り入れて仕上げることで、技法や文化的背景、精神性など、芸術のDNAに至るまでを継承する新しい文化継承の方法です。

また、クローン文化財の技術をさらに発展させ、失われた文化を復元し、オリジナルの文化財がもつ現代的価値を超えた新たな価値を創造するスーパークローン文化財は、失われた文化財を甦らせることを可能にしました。スーパークローン文化財は、世界共有の財産である文化財を守り伝える新技術として文化の共有と世界平和を実現し、保存（学術）と公開（経済）を両立し、持続的に文化継承を可能とする新たな手段として、国際社会から大きく注目されています。